



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2003
10

MONTHLY LETTER No.4

2003.10.1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
職業奉仕月間にちなんで	3
R I 会長ノミネー決定	4
米山月間によせて	5
米山奨学生紹介	6
国際大会(関西)実行委員会より	7
親睦活動委員会ニュース	7
第9グループ 第2回会長・幹事会の報告	8
社会奉仕3委員会合同意見交換会	9
家庭奉仕委員会から	14
地区100周年記念委員会報告	17
ロータリーの友委員会報告	17
札幌はまなすRCチャリティコンサート/新入会員紹介	18
札幌東RCチャリティディナーコンサート	19
第3回ロータリー市民講座開催のお知らせ	19
文庫通信/訃報	20
ハイライトよねやま43	21
お知らせ	23
掲示板/ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ	24
8月会員数・出席率	25
地区カレンダー	26

—開催せまる!!—



今こそ地球のために



RIテーマ
「手を貸そう」

2003～2004年度 地区大会 国際ロータリー第2510地区

10月24日(金)・25日(土)

場 所 / 千歳市民文化センター
記念懇親会 / 千歳全日空ホテル

- ・記念ゴルフ大会 10月23日(木)
シャムロックカントリー倶楽部
- ・記念囲碁大会 10月5日(日)
札幌市：アスティ45

ホストクラブ 千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ

ガバナーメッセージ



職業奉仕を大切にしよう!!

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は職業奉仕月間だ。職業奉仕はロータリーの綱領において次のように強調されている。事業及び専門職務の道徳的水準を高めること：あらゆる有能な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること：そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること：となっている。創立当時のシカゴRC会員は一業種一会員のもと自分が注文する仕事は優先的にロータリアンに依頼、発注しようという発想があって職業奉仕委員会は活況を呈したと聞く。ロータリーの基本的な職業奉仕の精神は、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援することにある。この意味の一端を具体的に愚見すれば巨額の粉飾決算によって多くの株主に多大な損害を蒙らすような職業倫理を持った経営者を四つのテストに列挙された経営に立ち戻すために、またこのような経営者が出現しないよう育成支援していく事ではないかと思う。自分の職業を通じて社会に奉仕をする、このことが職業奉仕の真髄である。職業奉仕を大切にしよう!!

さて、今月は米山月間でもある。1952年に東京RCの米山梅吉氏の功績を記念して創設された日本における財団である。米山奨学会もまたR財団と同様資金難に陥って

いる。米山奨学会は毎年約1,000名のアジアを中心とした奨学生を受け入れているが、経済不況と会員減少による米山普通寄付及び特別寄付は年々減少の一途にある。にもかかわらず約1,000名の学生の受け入れ、学生に対する奨学金月額の支援は一定である。昨年は積立金を取り崩し3億円が支出に当てられた。今年度もまた2億円の収入不足を見込んで支出に当てるのが予算で承認された。このように毎年基金の積み立てを取り崩すことが良いのだろうか。民間最大の留学生支援団体と胸を張ってはいるが積立金の取り崩しは、この事業の致命傷になりかねないのではないかと老婆心ながら申し上げたい。奨学金の減額は他の支援団体と比較され優秀な学生は奨学金が多く支給される方に魅力を感じ流れていく。とすれば受け入れ学生数を減少する以外に方法が無いのではないかと。日本経済が立ち直り中小企業、零細企業に明るさを取り戻したとき、自ずから会員の減少は底をうち増加に転じ寄付金の協力も得られ易くなるだろう。これまで退会した多くの先輩会員を含め積み立てた基金は貴重な財源であり、これを取り崩すことなく上手に運用し、この収益をもって支出の財源に当てるのはともかくとして、むやみに基金の取り崩しは如何なものかと思う。

ガバナー日記(2)

ガバナー 佐藤 秀雄

7月25日(金)第2820地区(茨城県)からのインターアクター、引率の先生及びつき添いのロータリアンが当地区を訪れサッポロビール園で盛大に歓迎会を開催。木村代表幹事、高慶代表幹事補佐と参加。堀田インターアクト委員長他委員の皆様へ脱帽、本当にご苦労様です。7月29日(火)地区補助金委員会で6クラブから申請のあった補助金について審査、全額認めたいがそれは無理。大きな予算については半額、小さなものについてはほぼ全額、これには財団への貢献度も考慮された。

公式訪問

7月10日(木)第12グループの公式訪問のため、上井地区幹事とガバナー事務所を8時30分に出発、車で一路苦小牧グランドホテルニュー王子に向かう。早速9時20分から山本雅昭ガバナー補佐司会で各クラブ40分間の会長・幹事懇談会に入る。白老RC鈴木会長は9月5日(金)の創立25周年記念事業として全盲のピアニストをお呼びし中学生、高校生及び市民を巻き込んで地域市民一体となった演奏会を企画。苦小牧RCの圓谷会長はクラブで9名の学生に月額7万円の奨学金の補助をしているとの事。苦小牧東RC木村会長からはクラブ会員に「ロータリーの心」を知ってもらおうクラブ運営をしたい。ジンバブエとの交流、青少年育成事業、環境保全啓発フォーラム及び看板設置等の事業を展開したい。苦小牧北RC田中会長は奉仕活動の再検討をしたい。RCC事業、サッカー大会の支援、家庭生活カウ

ンセラー事業の支援そして今年度は身障者によるアイスホッケー大会の支援に力を注ぎたい。12時30分から合同例会を開催し暖かな雰囲気の中で終了した。7月25日(金)第6グループの公式訪問、8時30分木村代表幹事の車で小樽グランドホテルに向かう。10時から梅庭ガバナー補佐司会で会長・幹事懇談会。各クラブ40分最初の小樽南RC、大黒屋会長はもう一度ロータリーを勉強し、ロータリーの原点に戻ろうを目標に掲げ親睦と奉仕を重点にクラブ運営を強調。小樽RC河辺会長は10月18日(土)クラブ創立70周年を迎える準備に忙しい。小樽銭函RC藤田会長は会員を25名まで増強したい。各委員会は会員が少ないため会長・幹事も兼務指導している。12時30分3クラブ昼食をはさんだ合同例会。終了後第6グループ後半の会長・幹事懇談会のために梅庭ガバナー補佐の事務局斎藤次長の案内で岩内に向かう。岩内RC佐藤会長は経済状況が悪いため会員減少が続いている。なかなか若い会員を補充できない。これによってクラブ運営資金も厳しい。余市RC木村会長は指定寄付のポリオ、会員減少対策、環境保全等について話し合った。倶知安RC鈴木会長はFAX通信によりきめ細かく会員に例会の案内をする、持たない会員には幹事が案内を持っていく、このことにより出席率が向上した。蘭越RC佐藤会長は現在15名で運営しているが財団、米山は既に送金したとの事、有難うございました。明日の合同例会のため宿泊。



職業奉仕月間にちなんで

職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治 (札幌西北RC)

1 ロータリーにおける職業奉仕 (Vocational Service)

ロータリーにおける職業奉仕とは、ロータリアン以外の人たちに“ロータリーの心”を分かちごとであると言われていいます。

つまり自らの職業を通じて地域社会の人々や世界の人々との間に善意と友情溢れた関係を創ろうと言うのがロータリーの職業奉仕と解釈されています。

次にロータリーは実践運動であると言われていいます。ロータリーの哲学は単に主観的なものであつてはならず、それを客観的な行動に移さねばならないと提唱されています。

1905年のロータリーの草創期に当たってポール・ハリスを始めとするロータリアンたちは、一業種一会員の数少ない仲間にてロータリー活動を創出し、ロータリーにおける職業奉仕理念を創出したのです。

2 Vocation と Service という言葉

Vocation (職業) という言葉は社会人の「定職、家業、事業、専門職務、あるいは業務」を指しております。

ロータリーは、職業奉仕という言葉を使用するに当たって、Service (奉仕) という文字をその一番広い意味で使っており、単に事業あるいは専門職務における取引行為や販売された商品を指すのみでなく、仕事上の相手方のニーズと境遇に対して考慮を払い、他人に対しいつも思いやりの心を持つことも指していると言われていいます。

3 職業奉仕の理念の誕生

「ロータリーは決して宗教でもなければその代用物でもない。それは古くから存在する一道德観念の現代生活における、ことに実業職業生活における実践に他ならないのである」これはポール・P・ハリスの『ロータリーの理想と友愛』の一節であります。

初期のロータリーは相互扶助という会員同士の知己の追求であったことは否定できません。が、

時をおくことなく、相互扶助の制度に反省が occurs ります。

ハリスは「相互扶助の観念は一般的奉仕の観念に世を譲った」と表現しています。

この相互扶助の制度にロータリーの奉仕の原点、なにかなく、職業奉仕の原点があると考えます。

ハリスをはじめとするロータリー初期の指導者は「奉仕第一、自己第二 (Service Above Self)」を掲げ、心が物欲から離れることの大切さを訴え、報酬はもとより付随物であることを認識すべきとしています。

4 フランク・コリンズの標語 (Service Not Self) →1921年に Service Above Self に改正された。

1911年ポートランドで開催された第2回全米ロータリークラブ連合会の席上ミネアポリスクラブのコリンズの提唱した標語である。

ただし、Service Not Selfは自己を滅却した奉仕を意味するものと受け取られ、自己否定につながるという反論が強く起こりました。

モットーとして採用されて半年後には、自己の存在を認めた上で、他人への奉仕を求めるという意味の修正が加えられた、Service Above Selfが広く使われ始め、1921年コリンズの死後 Service Not Selfが正式に廃止されて、Service Above Selfに変更されました。

Service Above Selfは「超我の奉仕」「自己研鑽の奉仕」「奉仕第一、自己第二」などと訳されています。

5 シェルドンの標語

(He Profits Most Who Serves Best)

フランク・コリンズの奉仕理念のService Not Selfの思想を支持したアーサー F・シェルドンが「ロータリーの哲学の中で一職業の存在の本来の理由は、人類社会に奉仕することである」と述べているごとく、高い倫理的規範と道徳的規範に忠実に裏打ちされる職業観こそが、職業奉仕であると言われていいます。

即ち、自己の利益を得ようとする欲望と、一方

では他人に尽くさねばならないという義務感この二つの争いを調和させるようロータリー創立当初から提唱されています。

このシェルドンの He Profits Most Who Serves Bestという標語はロータリーのモットーとして使用され、後に最も有名なロータリーの公式標語となり今日に至っています。

6 ロータリーの公式標語「He Profits Most Who Serves Best」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の最近の動向

- ① 2001年6月米国イリノイ州エバンストンで開催されたR I 理事会は、上記公式標語の使用を停止しました（「ロータリーの友」平成13年9月号掲載）。
- ② 2001年11月に米国イリノイ州エバンストンのR I 理事会は、ロータリーの標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」が世界の数地域のロータリーにとり根源的な存在であることを認識し、理事会はこの標語の使用の停止を決議した2001年6月の会合における決定を撤回いたしました（「ロータリーの友」平成14年2月号掲載）。

平成15年4月25日札幌R C 札幌南R C、札幌あけぼのR C 3クラブ共催の例会にて、時のラタクルR I 会長は、板橋R I 理事をはじめ、アジアの諸理事のR I 理事会における献身的な努力でこの標語が上記の通り残るに至ったことを明白かつ切実に卓話で話をしております。

ポール・ハリスをはじめとするロータリー創始者の理想は確固として永遠に守り抜かなければなりません。

7 職業奉仕月間

R I 理事会は、一人ひとりのロータリアンだけでなく、各クラブも、職業奉仕の理想を日常実践するように強調するために、毎年10月を特に職業奉仕に焦点をしばったプログラムを行う「職業奉仕月間」と決めました。

職業奉仕は、ロータリー・クラブとクラブ会員両方の責務である（手続要覧職業奉仕に関する声明の一節）。

今月は地区内ロータリアンの皆様、ロータリーの根幹である職業奉仕に思いを至していただけるようお願い致します。

カール・ウィルヘルム・ステンハマー氏が R I 会長ノミニーに



スウェーデン・イエーテボリロータリークラブのカール・ウィルヘルム・ステンハマー (Carl Wilhelm Stenhammar) 氏は、R I 会長指名委員会により、2005-06年度のR I 会長ノミニーに選ばれました。

国際的な食品ブローカーであるステンハマー氏は、ガスト・F・ブラット社 (Gust. F. Bratt AB) の元オーナーであり、加えて、数社の会社の理事、地元の学校の理事長を務めました。

ステンハマー氏は、1974年にロータリーに入会。ガバナー、R I 理事 (1996-98年度) を歴任しました。

現在、ステンハマー氏は、ヨーロッパR I B I 恒久基金委員会委員長、そして識字および教育推進グループの総コーディネーターを務めています。また、ポリオ撲滅提唱グループ委員、ポリオ・プラス担当顧問であり、2003年8月にスウェーデンで開催された国際平和と寛容に関するR I 会長祝賀会議では、議長を務めました。

(「友」インターネット速報より)



米山月間によせて

米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖 (札幌北RC)

ロータリーにはクラブだけでなく、ロータリアンひとりひとりがロータリー活動に参加するよう強調するために、RI理事会が指定した8つの特別月間があり、10月は職業奉仕に関する特別月間に当たると共に、日本独自のものであるが、規模・実績ともに民間では国内最大である、奨学制度のロータリー米山記念奨学に理解を深める月間でもあります。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、国際理解と親善を深めるために、ロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給・援助する日本ロータリーの奨学団体です。

1. 沿革と変遷

日本最初のロータリークラブを創立し、自らもアジアの留学生に援助した米山梅吉氏の功績を記念して、東京RCが1952年米山奨学制度を設立、1953年から募集を開始。1957年に日本全国のクラブ・ロータリアンに呼びかけ、国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、全国的な組織となる。1958年全国の大学より8名の奨学生を採用し、1959年世話クラブ制度を設置。1960年会名を「ロータリー米山記念奨学会」と改称。1967年財団法人(基本金3,000万円)の設立許可を得る。1971年カウンセラー制度を設置。1978年寄付金の免税措置が認可となる。1983年米山月間を10月とする。1999年4月採用から、ロータリークラブの所在国に関係なく、すべての国・地域から応募可能となる。(これまではロータリーの所在する国からしか奨学生を採用出来なかったため、中国からの留学生は対象外であった)2002年4月採用から大学推薦制度を実施。2001年日本の留学生受け入れ制度100年記念にあたり、文部科学省より功労団体として表彰される。2003年米山表彰制度が改定される。

2. 目的と事業

ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的とします。

上記の目的を達成するために、次の事業を行っています。①奨学金の支給 ②世話クラブとカウンセラー制度 ③国内外での学友会活動 ④ロータリアンと奨学生の交流。奨学金による経済的支援だけでなく、世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援が特徴です。

3. 奨学金制度

奨学金には大学院博士過程を対象としたYD奨学金、大学院修士課程を対象としたYM奨学金、学部生を対象としたYU奨学金の3種類があります。このほかに世話クラブが支える延長制度のCY奨学金や、特別奨学金などがあります。

4. 表彰制度

米山特別寄付金に対する米山功労者表彰が本年7月より新しくなり、従来30万円の功労表彰が10万円で受けることになり、2回目以降はマルチプルとなります。すでに米山功労者となられている方は、自動的に新制度の10万円刻みの表彰回数に変更になります。そして、準米山功労者〔累計3万円〕、米山ファンドフェロー〔累計15万円〕は廃止となりました。米山功労法人、米山功労クラブの表彰については変更はありません。

本年度もロータリアンの皆様からのご寄付により1,000名の奨学生を支援いたします。しかし、会員数の減少や不況の影響で前年度の寄付金が1億3,000万円減少し、特別積立金の取り崩しにより運営せざるを得ない状況です。会員諸兄のご理解とご協力をお願いいたします。

米山奨学生紹介

2003年度



氏名	キョウレイチン 邱麗珍
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	法学政治学
世話クラブ	札幌真駒内



氏名	サイシュラン 崔春蘭
国籍	中国
大学・課程学年	小樽商大・修士2
専攻	経営管理
世話クラブ	小樽



氏名	エルデネバ タル・イデル
国籍	モンゴル
大学・課程学年	室蘭工大・修士2
専攻	情報工学
世話クラブ	室蘭東



氏名	カシン 何新
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	医療薬学
世話クラブ	札幌大通公園



氏名	ホンナヨン 洪奈延
国籍	韓国
大学・課程学年	浅井学園大・修士2
専攻	人間福祉学
世話クラブ	江別西



氏名	カナン 賈楠
国籍	中国
大学・課程学年	北大・医博4
専攻	高次診断治療学
世話クラブ	札幌東



氏名	キムヤンスク 金良淑
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	国際広報メディア
世話クラブ	札幌南



氏名	イヨンエ 李英愛
国籍	韓国
大学・課程学年	学園大・博士3
専攻	日本文化
世話クラブ	札幌幌南



氏名	リーコウバイ 李紅梅
国籍	中国
大学・課程学年	北大・医博4
専攻	生体機能学
世話クラブ	札幌北



氏名	リョウレンブン 梁蓮文
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	生物資源生産学
世話クラブ	札幌西北



氏名	リンエイハ 林永波
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	物質環境科学
世話クラブ	札幌西



氏名	リョウショクジョ 劉淑如
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	歴史地域文化学
世話クラブ	札幌手稲



氏名	シンセツカン 申雪寒
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	社会基盤工学
世話クラブ	札幌はまなす



氏名	シンドウファン 申東煥
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	生命資源科学
世話クラブ	函館五稜郭



氏名	タンチ(ロウテイ) 陳貞君
国籍	マレーシア
大学・課程学年	道工大・修士2
専攻	機械システム工学
世話クラブ	札幌あけぼの



氏名	タンダン 譚丹丹
国籍	中国
大学・課程学年	札幌大・修士2
専攻	文化学
世話クラブ	札幌清田



氏名	オウカイエン 王海燕
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	人間システム科学
世話クラブ	札幌



氏名	ヤンチュン 楊春
国籍	中国
大学・課程学年	北大・修士2
専攻	生物資源生産学
世話クラブ	札幌モーニング



氏名	ユンジョン ス 尹種秀
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	環境資源工学
世話クラブ	札幌セントラル



氏名	ジャンショウファ 張曉華
国籍	中国
大学・課程学年	教育大・修士2
専攻	学校教育
世話クラブ	新札幌

「ホスピタリティを發揮しよう！」(ホスト主催行事の紹介)

国際大会(関西)実行委員会では、大会期間中に以下のイベントを行います。

●京都デー

実施日：5月22日(土) 8:00~23:00

参加費：¥10,000

参加予定人数：(主に海外参加者)
(終日・昼夕食付) 2,500名
(半日・夕食のみ) 500名

主催：実行委員会

概要：リーガロイヤルホテル大阪よりバスに分乗し京都の名所を観光。平安神宮では呈茶をご用意し、平安神宮近くの京都会館にて和太鼓や京都の祭りの映像などをご覧ください。夕食後、バスに分乗しリーガロイヤルホテル大阪へ向かいます。

●ウエルカムコンサート

実施日：5月22日(土) 16:00~22:00

参加費：¥6,000

参加予定人数：(主に国内参加者) 1,400名

主催：実行委員会

概要：大阪城近くのNHKホールにおいて、NHK交響楽団コンサートをご鑑賞いただきます。ポリオ撲滅の慈善事業も兼ねています。

●道頓堀ナイト

実施日：5月24日(月) 17:00~21:30

参加費：無料

主催：第2660地区

概要：道頓堀川が流れる大阪の中心地、道頓堀で大阪ならではのエキサイティングな夜をお楽しみください。

●神戸ナイトクルーズ

実施日：5月24日(月) 18:00~22:00

参加費：¥5,000

参加予定人数：(主に海外参加者) 400名

主催：第2680地区

概要：大阪一神戸間を乗客船でクルージングし、船内では神戸文化としての「神戸ビーフ、神戸ワイン、灘の酒、ジャズ」を紹介し、神戸の夜を満喫していただきます。

●パークフェスタ(ユニバーサルスタジオ・ジャパン)

実施日：5月25日(火) 17:30~23:00

参加費：¥6,000

参加予定人数：9,000名

主催：実行委員会

概要：ユニバーサルスタジオ・ジャパンはアメリカ国外で初めて作られたユニバーサルスタジオのテーマパーク。そのダイナミックな感激を伝えると共に、ロータリアンのためにスペシャルショーを3回上演します。(シャトルバスはリーガロイヤルホテルより出発。)



親睦活動委員会ニュース

●JGFR(日本ゴルフ同好会)国内大会

○第17回JGFR東京大会

日時：平成15年11月10日(月)~11日(火)

コース：府中カントリークラブ 18H

募集定員：160名

参加費：18,000円

○第2回JGFRお花見東京大会

日時：平成16年4月5日(月)~6日(火)

コース：小金井カントリー倶楽部 18H

募集定員：160名

参加費：18,000円

●IGFR世界大会

○41th大会 (3月26日まで申込)

日時：2004年5月17日(月)~21日(金)

コース：米国・NC州・CHARLOTTE

参加費：ロータリアン\$825、同伴夫人\$675

○予告 42th大会 2005年5月又は6月

豪州・クインズランド州

Royal pinesにて

※詳しくは地区親睦活動委員会へ

親睦活動委員長 灰野 篁(札幌北RC)

第9グループ 第2回会長・幹事会の報告

第9グループガバナー補佐

宮武忠史 (登別RC)

8月22日(金)室蘭RCのスポンサーで第2回目の会長・幹事会が室蘭プリンスホテルで行われました。

宮武忠史ガバナー補佐の方針により今後は従来の報告・懇親主体の会長・幹事会に加え、グループ協議会的な内容も加えて行うことになりました。

今回は「例会の充実」をテーマにグループ内の6クラブから「親睦活動委員会」「プログラム委員会」の各委員長にも出席をお願いし、会長・幹事を含め2分科会にて協議を行いました。

①例会プログラムについて 担当：室蘭RC

②会員親睦について 担当：室蘭東RC

分科会終了後、各担当クラブの幹事さんから報告をいただきガバナー補佐の総評で会議の部を終えました。

いずれも、各クラブ別の現状報告や問題点、悩みなど活発な話し合いが行われました。例会の充実が、会員増強や退会防止に果たす役割が大きいのは、どの会員も承知しているわけですが、クラブ内だけの限界を感じているクラブがあるのも現状です。そのような問題の共有・解決のためにも、同一エリア間の情報交換をもっと活発に行うことで意見の一致をみました。

次回の会長・幹事会は(10月17日(金)スポンサー：伊達RC、伊達ロイヤルホテル)

①国際奉仕委員会

②社会奉仕委員会

の2分科会で開催を予定しております。

(文責：第9グループガバナー補佐幹事 斎藤正史)



地区委員会報告

社会奉仕に関する3委員会合同意見交換会が 地区内5カ所で開催されました

地区社会奉仕委員長 対木正文 (札幌西RC)

地区家庭奉仕委員長 和田壬三 (札幌南RC)

地区子ども奉仕委員長 米山道男 (札幌北RC)

社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕合同の意見交換会が、7月～8月に函館、滝川、苫小牧、小樽、札幌で開催されました。年度初めに他クラブの奉仕活動を知ることにより、より地域に密着したプロジェクトを模索できるように、また、昨年度新設された家庭奉仕委員会、今年度新設された子ども奉仕委員会の設立趣旨を理解するためのものです。

どの会場も、出席されたそれぞれのガバナー補佐からご挨拶をいただいた後、3地区委員会の委員長から今年度の活動計画と各クラブへのお願い、注意点などを説明しました。

対木は、プロジェクト推進の上での広報の重要性和結果の評価の大切さを話しました。和田は昨年度1年間の活動から見えてきた家庭奉仕のあり方と今年度新たに加わった家族委員会の説明をしました。米山は、委員会の設立趣旨と学校への講師派遣と職場訪問受け入れに関する奉仕活動についてかなり具体的に話しました。

その後、各クラブの社会奉仕委員会委員長を中心として各クラブの今年度の社会奉仕に関する活動計画とクラブが抱える悩みなどが紹介されました。

後半の質疑応答の中で、子ども奉仕委員会の主活

動である小中学校への講師派遣に関して、教育委員会との話し合いや教職員への理解をどのように図るべきかなどについて活発な意見が交わされました。また、地区委員会の数の多さが話題にされ、会員の減少やクラブの現状を考えると、委員会の統廃合を考える時期ではないかとの発言も幾つかの会場からありました。

3地区委員会は各クラブが地域のニーズにあった実りある奉仕活動をしていただくためにクラブと情報を共有しながら努力していきます。ご参加いただいたガバナー補佐、会長、幹事、社会奉仕委員会委員長各位、そして会場設営にご協力いただいた地元クラブの皆さまに心から感謝申し上げます。



第10、11グループ (7月26日、函館)

日時	場所	グループ	参加クラブ数	参加人数
7月26日(土)	函館	10、11	11	35
8月2日(土)	滝川	1、2、3	14	27
8月9日(土)	苫小牧	7、8、9、12	15	50
8月23日(土)	小樽	6	7	19
8月30日(土)	札幌	4、5	13	24



第1、2、3グループ（8月2日（土）、滝川）



第6グループ（8月23日、小樽）



第7、8、9、12グループ（8月9日、苫小牧）



第4、5グループ（8月30日、札幌）

第7、8、9、12グループ 「社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕活動 に関する3委員会合同の意見交換会」

第7、8、9、12グループ担当

地区社会奉仕委員 菊地 芳彦（苫小牧北RC）

表記「意見交換会」が昨年度に引き続いて、地区を5ブロックに分けて開催されました。今年度は地区組織図上社会奉仕委員会の下部委員会となり、昨年度設立の「家庭奉仕委員会」と今年度設立の「子ども奉仕委員会」の設立主旨と現時点における取り組み状況を地区委員会担当者より、具体的に詳しく説明する事により、理解を深め、今後のロータリーの奉仕活動に生かして頂く事を目的としています。

さて、第7、8、9、12グループの「意見交換会」は平成15年8月9日（土曜日）台風のせまる悪天候の中、苫小牧市グランドホテル・ニュー王子に於いて、午後の3時間を要して開催されましたが、その内容と結果についてご報告致します。参加クラブは第7グループ5クラブ、第8グループ4クラブ、第9グループ2クラブ、第12グループ4クラブ、地区役員として伊藤PG、第12グループ山本ガバナー補佐、第8グループ細川ガバナー補佐、第9グループ

斎藤ガバナー補佐代理、第7グループ後藤ガバナー補佐、主催者側より地区社会奉仕委員会对木委員長、菊地・東原委員、子ども奉仕委員会米山委員長、山田・平野・和歌委員、家庭奉仕委員会高下委員、木村地区代表幹事合計50名の参加者でした。各クラブ社会奉仕委員長、会長、幹事又は関係委員会委員の方々が参加されました。司会は担当社会奉仕委員、菊地が務めました。開催主旨説明は対木社会奉仕委員長、開会挨拶を山本ガバナー補佐及び細川ガバナー補佐からなされました。

(1) 地区委員会報告

地区3委員会より詳しい資料が配布され、それをもとにして説明と討議が行われました。

1. 地区社会奉仕委員会（対木正文委員長）

ロータリーが社会奉仕活動を行う目的は、真に地域社会が望んでいる事業を通して、ロータリーのメッセージを伝えることです。そのための効果

的な一定の実践手順に従うことが重要です。

①プロジェクト選択は真に地域が求める現実問題に対応し、興味を持って実行可能なこと。②プロジェクトの計画にあたっては、目標、目的、予算設定、理事会、例会、会報を通じた会員の理解と参加、地域社会とのネットワーク構築が重要です。③広報活動は内部広報だけでなく、外部広報も大切です。地域にロータリーを理解してもらうことこそが、緊急対応を要する会員増強につながります。④資金計画、募金活動に於いてはクラブ予算、会員からの募金、事業に賛同する寄付者とのコンタクトが重要です。⑤結果の評価においては単に「終わって良かった」というのではなく、記録を残し会報で報告する事は一方法です。又、ガバナー月信に写真を添えて投稿することは他クラブの参考となります。事業が本当に地域に密着しているか、プログラム自身がマンネリ化していないか、前年度からのしがらみにとらわれていないこと、時代に合った活動か、何となくやるのではなく、目標、目的が設定できて、奉仕活動として実践可能なこと、更には、内部広報を充分に行い、当該委員会だけでなく、他の会員、他の委員会の参加も求めること。以上の実践手順とそれに付随する事項を毎年考慮する事が必要です。プロジェクトの例としては、都市問題、環境保全、人口問題、保健、障害者や老人に対する奉仕活動等がありますが、特に注目すべき問題としては、日本社会の成熟化に伴い社会の不安定性が顕著になっていること。新聞報道では不登校児童数減少を伝えていますが、まだ13万人位もいて決して少ないとはいえません。しかも最近では児童虐待だけでなく、子供の凶悪犯罪も増加しています。この根底にある背景を広く考察する事が重要です。以上の諸要因を考慮して、今年度の地区社会奉仕委員会の活動予定は以下の通りです。

①地区内5ブロックにおける「合同意見交換会」の実施。

②地区で支援しているタイのパバナ財団理事長パバナ・ホンサクン女史を基調講演講師として招致し、平成15年11月29日(土)於札幌道新ホールで、地区社会奉仕委員会とWCS委員会共催により、(仮題)ロータリー市民フォーラム「タ

イの児童虐待—今、日本が学ぶことは」を実施予定。

③「地区家庭奉仕委員会」と「地区子ども奉仕委員会」の設立主旨と活動の啓蒙。

④昨年度よりも充実した内容の地区内クラブ社会奉仕活動報告書の作成。

2. 地区子ども奉仕委員会 (米山道男委員長)

最近では子どもの犯罪が多発し、それに対して「厳罰を課さねばならない」という意見と、一方では無関心な親達があります。子どもには1人1人違った良い所があり、それを認めて、親達はできるだけ子どもに接する時間を多くする必要があります。家庭は家族が最も気楽にすごし、接することのできる空間であり関係であると安易に考えるのではなく、実は非常に重要な関係であって、もっと慎重に考えるべき事であったと反省しています。たとえば家族が5人であれば5角関係となり、しかも家族内のある2人の関係が他の家族構成員にも大きな影響を与える事があり、又、ひとたび結成された家族は、その後ずっと共に家族の歴史を背負っていかねばなりません。我々ロータリアンは家庭に於いて配偶者や子どもに評価される存在にならなければ本物ではありません。「子ども奉仕委員会」設立の動機となったのは、昨年9月に日本35地区ガバナー会議長である前川氏が「ガバナー会青少年育成委員会」を発足させ、ロータリアンが子ども達の育成にもっとかかわるために①ロータリアンによる小中校での授業、②小中校生のロータリアン事業職場の見学・実習、③ロータリアンの学校評議員への参加等の提唱、学校側の事情は小、中、高校の総合学習の時間帯に外部講師を招致する必要があるが講師謝礼金の予算がないこと、外部講師招致のための方法が解らない事、このような相互事情をクリアする最適な団体がまさにロータリアンのグループです。「子ども奉仕委員会」というネーミングの意味する事は、青少年は駄目な存在であるから、ロータリアンが彼らを育成する必要があると考える思いあがりではなく、子ども達のためにロータリアンとして可能な事をするという事であり、決して子どもの召使いになる事ではありません。さて、本年度事業開始のために、昨年度に先導的試行として、小林

PGに縁のある札幌市内4校で授業を実践しました。授業する事を承諾した登録者の懇談会が本年4月に行われ、授業の実践後本年6月に中間報告書を作成しました。

ロータリアンの授業を体験した子ども達の担任教師からの評価は殆どが良好でしたが、唯一外国籍児童に対する配慮を求めた一例がありました。授業をする際に講師には話す内容についての注意と配慮が必要である事が解りました。さて、本年度事業を実施するにあたり、経時的に以下の手順を考えています。①7～8月：各クラブとの連携（地区内5ブロックの合同意見交換会実施）②9～11月：登録者名簿作成（9月各クラブへ協力者登録票の提出依頼、10月登録締切、11月発行）③11月以降：市町村教育委員会との連携④12月～16年3月：小中学校との個別協議⑤16年4月以降：講義や職場訪問の実施⑥16年6月：実施報告書作成など、埼玉県教育委員会事業である中学生の3日間にわたる事業所体験学習「3DAYSチャレンジ」、北海道教育庁による就業体験を通じた勤労観、職業感育成を目的とする「インターンシップ」等興味ある方法の紹介もありました。

3. 地区家庭奉仕委員会（高下泰三委員）

当委員会は日本で初めてできた家庭奉仕委員会です。当初は検討小委員会としてスタートしましたが、4回の勉強会の成果により、委員会活動を開始するに至りました。当委員会設立の動機となっているのは、最近日本においても少年が起こす凶悪犯罪が急増し、子育て、家庭の基盤、親子関係に対する疑問、不安が大きくなっている事があげられます。驚くべき報告として1998年に「あなたはあなたの両親を非常に尊敬していますか。」という質問に対して、韓国55%、アメリカ80%に対し日本は10%のみが「はい」という回答でした。従来日本は世界一暮らしやすく、経済的にも豊かでした。しかし今は両親が子どもから尊敬されず、信頼もされない国となりました。夫婦が互いに尊敬し、信頼し、親子が互いに尊敬しあう家庭を増やすためにはどうすべきかという疑問が動機となっています。家庭奉仕については職場で従業員へ家庭奉仕をすすめる、援助する、地域での家庭奉仕、家庭作りの意識改革を外に示さない、崩壊した家庭の援助という事なども考えねばなりません。

3つの対象、①自分自身、②職場、③地域のどこにポイントをおくかを話し合った結果、初年度にはまず自分自身の家庭奉仕から取り組むこととなりました。昨年度の実施項目は

- ①4回の勉強会（前札幌市教育長土橋信男氏「円満な家庭を築くために」、親業訓練インストラクター土橋芳美氏「親業訓練の考え方と実際」、池上学院学院長池上公介氏「登校拒否児の指導経験から」、侑愛会診療所所長大場公孝氏「発達障害児の支援から学ぶこと」）
- ②地区内IM及びワークショップ支援（第4・5グループ合同IM慈愛の種は家庭から及び函館RC、家庭奉仕を語るワークショップ「日ごろ心がけている家庭奉仕」）
- ③地区内各クラブからの活動報告
札幌北RC、札幌真駒内RC、深川RC、上磯RC

今年度家庭奉仕について採用して頂きたいメニュー

- ①2003.2.28開催 第4・5グループIM、パネルディスカッション「慈愛の種は家庭から—家庭生活を豊かにする方法について」ビデオ（25分）の活用
- ②家庭奉仕フォーラムの実施
2月第2週の家族週間又は例会フォーラム
- ③地区家庭奉仕委員会勉強会への参加
- ④親業訓練セミナー開催
昨年の勉強会で最も影響を受けたセミナーです。有料ですがクラブ内、地域内でひとつのグループを作り、何度でもロールプレイをしながら教わる事が可能です。

4. 地区の現況（木村照男地区代表幹事）

本日の研修会の主題であり、昨年度発足の「家庭奉仕委員会」と今年度発足の「子ども奉仕委員会」については、各クラブは力まず急がず検討して欲しい。予算編成上重要な基礎となる地区会員数は最大で4,300～4,400名、14年7月1日年度開始時3,500名、15年7月1日3,304名となり会員数200名の減少は地区運営にとっては非常に困難な局面となります。

(1) 各クラブ活動報告

今回は発表クラブ数14の多数となり、発表時

間が1クラブ3～5分間と制限されましたが、非常に貴重な報告、意見を多数頂きました。活動報告は2002～03年度当地区社会奉仕活動報告書にもとづき補足説明、反省、意見そして、新年度事業への取り組みについて発表されました。発表はグループ順に主にクラブ会長には社会奉仕委員長より行われましたが、詳しくは「地区社会奉仕活動報告書」をご参照下さい。なお家庭奉仕への取り組みについては静内RC、浦河RC、子ども奉仕への取り組みについては千歳セントラルRC、浦河RC、室蘭RC等から報告されました。

(2) 質疑応答

① クラブ及び地区の委員会数が多すぎる

(苫小牧北RC)

対木委員長：函館でも同様意見あり。国際奉仕と社会奉仕のバランス、RCの地域密着化のためには地域の社会奉仕活動を活性化させる必要があり、会員数減少に伴う活動資金減少があり、時代の変化に即応した委員会の統廃合は必要と考える。

② 家庭奉仕委員会、子ども奉仕委員会等名称からは内容が判然としないこと。又、同様の活動内容がすでに実施されているが、異なる委員会名のもと、同様な活動がなされることがある (苫小牧北RC)

米山委員長：一定の期間集中的に活動するために独立委員会とし、事業が軌道にのってからは親委員会に吸収されうる。

室蘭RC：子ども奉仕委員会をはじめから独立委員会とはせず、社会奉仕委員会の中で「子ども奉仕担当」として責任を持たせる。

高下委員：家庭奉仕の概念を社会奉仕委員会の中で考え、あえて、独立委員会を新設する必要はないこと。

③ 同様の活動を複数の委員会で実施、又は委員会細分化により一委員会としての予算が合致される場合には活動資金が少なくなること。これを補填するために地区補助金、同額補助金を活用したいがそれ取得、活用する方法を個々のクラブで研究、理解する機会を作りたい。(静内RC)

④ 奉仕事業が拡大して経費が増加する場合、参

加者に入場料等を負担してもらうことには抵抗感がある。RCの奉仕事業は全経費をクラブ側で負担すべきか (千歳セントラルRC)
対木委員長：参加者がプロジェクトの主旨に賛同するなら多額でなければ入場料徴収は全く支障はないこと。

⑤ ロータリーの奉仕事業は「単年度事業が原則」と指導されてきた。新規事業を考える場合、すでに他の奉仕団体が実施している場合があり、毎年新規事業を開発する事には無理がある。(千歳セントラルRC)

対木委員長：「単年度事業」ということは、ある事業について毎年、「ロータリーの社会奉仕活動実践手順」にそって見直しをする事であり、地域が必要であれば、絶対1年限りで終了するのではなく、次年度維持する事には支障がないこと。

(3) 講評 (伊藤長英PG)

① ロータリーの4大奉仕の中でクラブ奉仕は別として、他の奉仕部門は対象及び手法に差があっても、広義ではいずれもが社会奉仕です。どの委員会事業であっても「社会に奉仕する基本姿勢」が前提であること。

② 各クラブが地区と同様な委員会数で総花的に事業を行う必要はなくクラブ独自の考えで重点事業を考えること。委員会数が多いとしてもある委員会を全く完全に廃止するのではなく、親委員会に活動を移行して、経過を見る事が現実的な対応であること。

③ RIの活動には教育的問題と人道的な問題の2つの核がある。ロータリー財団資金の使途は世界的には人道的事業、日本は教育的事業が多かったが、日本でも人道的事業が増加してきている。

④ ボランティア活動とはボランティアする人が全経費を負担する事ではなくボランティアする人が無報酬であっても、多額でなければ参加者から参加料を徴収する事は全く支障はないこと。

⑤ クラブが「家庭奉仕委員会」や「子ども奉仕委員会」をあえて新設する必要はなく、ロータリーの基本精神をもってできる範囲で協力する事でよいこと。



クラブ社会奉仕委員長さん又 クラブ家庭奉仕委員長さんへ

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

委員会を通じて学んだこと

小林直前ガバナーから、約1年半前に指名を頂き、昨年度末までに、当委員会の委員はほぼ全員参加で委員会7回、講師をお招きして開いた勉強会を4回開催し、更に第4・第5グループのIMのテーマとして当委員会が担当して、慈愛の種を家庭からというシンポジウムを開催し、会場やパネラー、土橋信男先生から多くの事を学び、函館地区で家庭奉仕をテーマとするワークショップを開催し、約40名のロータリアン全員から、現実の家庭奉仕の状況について、また悩まれた経験についてお聞きしましたし、家庭奉仕に関する書物があれば、読んでみました。(子育て崩壊、小学校絶体絶命、家庭の絆等)

題名はメモしていないので忘れましたが、家庭奉仕をテーマとする映画も上映される都度見ましたし、参考になる講演会のビデオもお借りしてお聞きしました。また、私自身は、小学校の課外授業で「みんな楽しく家庭のこと」というテーマで子供達と意見交換をしました。洞爺湖で開かれたワークショップ「子供のために家庭で何ができるか」において、問題提起をさせて頂きました。これらの活動を通じて、私が実感したことは、親の認識と子供の親に対する認識はかなり違うのではないかと、又、自分の見方と配偶者の見方では違うのではないかと。もう一度、親子或いは夫婦の関係を問い直した方が良いのではないかとということです。

例えば、(財)日本教育研究所が、日本と他の国の高校生を2,000名無作為に選んで親に対する意識調査を実施した結果がでています。

1996年のデータ、「年老いて両親が自分の力だけ

で生きることが出来なくなったときに全力で介護しますか」と3ヶ国の高校生に問うたところ、「はい」と答えた割合は中国が66%、アメリカが46%なのに日本は16%しかいません。1998年には、「貴方は自分の両親を非常に尊敬しますか」との問いを3ヶ国の高校生にしたところ、「はい」と答えた割合は、韓国55%、アメリカ80%なのに、日本は10%しかいません。最近の調査で未発表だそうですが、児童精神医学の佐々木正美先生が入手したデータでは全世界の中学及び高校生を対象に調査したとのことですが、「あなたは、貴方の両親の下に生まれて非常に満足していますか」という問いに対し、「はい」と答えた割合が80%以上の国がざらにあり、50%以下の国は全く無かったとのことですが、日本は25%しかいなかったそうです。

先程の佐々木先生のお話では、全国各地の保育園の保育士さん(都会も、田舎も)からお聞きしたところ、最近の子供達は全くまごど遊びをしない。保育士さん達が仕方なくさせようとしたがらない。特に中心となる母親役に誰もなりたがらない。一番人気はペットであるということです。一昔前なら、差別的な役割です。仕方なく誰か女の子を母親役に指名すると、遊びの初めから終わりまでずっと指示、禁止の言いつ放しだそうです。父親役を受けた男の子は、ずっとぼーっとしているだけだそうです。しかし、この両親を一生懸命面倒みたり、両親の下に生まれ、非常に満足しているとは言えない、或いは両親を非常に尊敬しているとは言えない大部分の高校生や中学生の両親は、子供からこのように思われていることを知っているのでしょうか。この

傾向は、統計や私自身も身内の保育園の保育士さん
或いは大学に進学した息子から同窓生が両親に対し
てどのように思っているかについて、同じような話
を聞いて実感していますが、その話からすると、段々
悪化しているように思えます。

当委員会は、今進行しているこのような家庭の問題
について、日本の将来にとって座して見逃すこと
が出来ない問題と考えて、今年度は、積極的に各ク
ラブに働きかけようということになり、手始めに、
当委員会の委員全員がこの連絡会において実情を訴
えて、各クラブに是非ともさまざまな形で取り上げ
て頂きたいとお願いするところです。

1. 現在私共が手近で最もお勧めできる講師は、親
業訓練協会の土橋芳美先生です。なおP16に掲載
のセミナーは有料ですが、極めて効果的です。
「親業」という本を読めば、はっとする方も多い
と思います。私共が当たり前だと思っていた接し
方が、ほとんど間違っていることが指摘されてい
ます。

例えば、夕食の時に仕事が遅くなって帰ってき
て、食べようとしているところで、子供達がうる
さく遊び回っている。テレビも聞こえない。とい
う状況の中で、普通は、「うるさいから隣の部屋
で遊びなさい」と命じるのではありませんか。結
果としてはそうですが、うるさいと感じて困っ
ているのは父さんであって子供達はそうは思わな
いわけですから、この場合には、素直に「父さんは
疲れて仕事から帰ってきたので、静かにごはんを
食べたい。あなた達が騒いでいると静かにご飯が
食べられないんだ。」とお話すればよいのです。
子供がそれを聞いて自主的に他の部屋に移って遊
ぶでしょう。そうしなくても怒ったり、指示した

り、別の解決方法を提案してはならない。何度で
も繰り返して考えていただくよう努力するべきだ
というのです。

2. 2番目は、札幌モーニングRCの池上公介さん
をお勧めします。話術も巧みですし、不登校の生
徒や、引きこもりの青年を預かって指導訓練して
いる経験に基づいてお話して頂けます。主に子供
の教育という視点からの家庭問題ですが、注意深
く聞けば家庭全般に関わる問題であることがよく
分かります。

3. このような講師を利用せず、卓話やフォーラム、
ファイヤーサイドミーティングなどの機会に家庭
奉仕をテーマに取り上げていただければ幸いです
が、漠然としたのでは効果が少ないと思います。

現状についてのお話を委員長さんなり、会長、
幹事さんがした上で、具体的なテーマで話し合わ
れたら如何でしょう。そのための資料は、いつで
も提供します。例えば、昨年札幌北RCが実施し
た会員のミーティングにおいて一つのグループが
出された「日頃している家庭奉仕。心がけている
家庭奉仕」といったことをテーマに話し合われる
のもよいでしょう。

4. 又、第4・第5グループIMのテープを25分間
にまとめたものが、地区文献資料室にあります。
函館のワークショップである参加者が、このテー
プを自宅で5回見たところ、奥さんもお覧になっ
て、ロータリーってたまにはこんなによいことを
やっているんですね、と感動したとの報告もあり
ましたが、そのテープは訂正なしの2時間もので
したので、多少違うとは思いますが、なるべく要
旨を残そうと何度も編集し直したものです。是非
一度くらいは、参考にお使いいただければ幸いです。

親業訓練入門講座



「親業訓練入門講座」は

行政機関及び諸団体が主催する子育て支援関連事業にご活用していただくために、親業訓練協会が新しく開発した独自のプログラムです。このプログラムは2003年1月1日以降ご提供できます。

このプログラムの特徴は

グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習（訓練）を通じて、参加者自身が、親としての役割や子どもとのコミュニケーションについて考え、見つめなおしていただける場面を多く取り入れたワークショップ形式で、従来の家庭教育に於ける座学と異なります。



講座の柱は以下の3つです

- 1) 親の役割とは何か
- 2) 子どもへの日常の接し方の大切さ
- 3) 子どもの気持ちに耳を傾けるために

指導するのは、親業訓練協会認定の親業訓練インストラクターの中でも、特にこの「親業訓練入門講座」のために研修を受けた者です。

このプログラムには6時間の中に、体験による学習、グループディスカッションなどが入り、バラエティに富んだ学習方法で活気ある講座が展開いたします。



このような訓練を受けることで

親であることが楽になる、というのが多くの方の実感です。
ある意味で親としての能力を高めるということでもあります。
やり方がわからないことは料理でも何でもむずかしく感じます。
子どもを育て、子どもといかに接するかについても同じです。
学ぶことで楽になることがあります。

是非、子育て支援関連事業の一環として、「親業訓練入門講座」のご導入をご検討賜りますようお願い申し上げます。

講座の時間・定員・費用

- (1) 時間：全6時間（2時間×3回、3時間×2回又は6時間×1回でも可能）
- (2) 定員：20人以上100人まで
- (3) 費用：1人4,200円（税込み・交通費別）

内訳：テキスト代2,100円 講師謝礼2,100円

*但し、20人未満で開催された場合も、最低定員20人分84,000円の費用になります。

親業訓練協会 (<http://www.oyagyoo.or.jp/>)

〒107-0062 東京都港区南青山7-10-3 南青山STビル2F

TEL：03(3409)8355 FAX：03(3409)8688

第1回国際ロータリー100周年記念地区委員会報告

日 時：2003年8月26日(火)午後4時～
場 所：札幌パークホテル
出席者：佐藤ガバナー、竹山元R I 理事、岩城委員長、
塚原、石田、木村、酒井、各委員
・岩城委員長より100周年記念事業の説明。
佐藤ガバナー挨拶。
・竹山元R I 理事よりカムリーバンクの近況報告。

打ち合わせ事項

R I 100周年記念行事計画

2005年のR I の計画を支援するため下記の項目を各クラブに早期に伝達する。

- ①会員数150万人を目指して増強活動 ②ポリオ撲滅の支援 ③会員1人当たり米貨100ドルの財団寄付 ④すべてのクラブは「ロータリー100年祭プロジェクト」を設置して地域社会に奉仕 ⑤2005年6月のシカゴ100周年記念国際大会への参加

地区の事前活動について

- ・地区内各クラブにR I 100周年記念事業委員会の設置を早期に要請。
- ・まず地区レベルで具体的な100周年プログラムの作成。
- ・具体的な100周年年間スケジュールの策定。
- ・次年度遠藤エレクトのPETSにおいて次期クラブ会長と次期ガバナー補佐に100周年記念事業の支援の要請。
- ・同じく次年度遠藤エレクトの地区協議会において100周年記念委員会の分科会を設けて各クラブの記念事業委員長と準備・推進活動について連絡PR。
- ・次年度ガバナー補佐会議、グループごとの会長・幹事会において議題に取り上げてもらう。

(記録：塚原委員)

第1回ロータリーの友委員会報告

委員長 佐藤 公 (札幌北RC)

日 時：2003年8月1日(金)
場 所：ガバナー事務所
出席者：佐藤秀雄ガバナー、佐藤公委員長(札幌北)、
斎藤元護(札幌南)、山名善久(札幌南)、
坂井 治(千歳セントラル) 各委員

議 題：

- ①全国ロータリーの友委員会合同会議(7月1日・東京プリンスホテル)の報告
- ②「わがまち わが地区」は8月号に全国第1回目として当地区が掲載された。(タテ組みP2) タイトルは「世界にはばたく自然と集いの港」で千歳の観光を紹介した。
- ③「地区のたより」の当地区担当は2004年3月号(原稿締切は2004年1月9日)。
原稿内容について検討の結果、女性会員の増強の観点から佐藤ガバナーと女性会員との座談会の模様を掲載することとした。
- ③地区雑誌委員長名簿作成について
地区内雑誌委員長とのコミュニケーションを活発化させることから名簿を作成する。
(事務局に作成依頼)

③委員会名の改称について

小林前年度において地区内の「雑誌委員会」を「ロータリーの友委員会」と名称を変えることが了承されているが、(注：今年度の地区協議会でも了承されている)各クラブにおいてはまだ徹底されていないので、文書を持って改称の徹底を図ることとした。

③ロータリーの友委員長会議(旧雑誌委員長会議)の開催について

2004年4月開催の地区協議会と同時開催を予定。この会議には現委員長及び次年度委員長の出席をお願いする。現委員長の活動報告、次年度委員長のガイダンスと引継などを計画している。

④各クラブの委員会活動の実状と活動促進について

「ロータリーの友」3分間情報などを設けてもらい、会員の「友」誌の購読を促進する。各委員長からアンケートをとり活動の実態を把握することも計画する。

⑤次回委員会の開催について

第2回ロータリーの友委員会開催日は11月11日から21日の間に開催をする。

札幌はまなすRC例会 郷愁、ロマンティック…… ピアノ・チャリティコンサート

札幌はまなすRCでは、542回例会（9/2）で、ピアノ・チャリティコンサートを開き、昼のひとつとき美しいメロディの音色を楽しみました。

演奏者は会員の岩崎和子さん。秋のうた「赤とんぼ」「小さい秋見つけた」「里の秋」3曲を皮切りに映画音楽「愛情物語」（米国）「慕情」（香港）など4曲。また懐かしい日本のうた「さくら貝のうた」や「水色のワルツ」「ある雨の午後」の3曲。それにメキシコ出身のガバナー補佐・戸部アナマリア会員のためメキシコのうた3曲を特別サービス。

約40分にわたってユーモアを交えた弾き語り、郷愁をそそり、恋物語あり、ロマンティック、それに八州秀章、高木東六、ディックミネといった往年の大御所の作曲家、歌手の名も紹介するなど、うっとりとし聞き応えは十分だった。

ちなみに岩崎会員はNHKのノド自慢のピアノ伴奏者としてお馴染みのピアニスト。この日のチャリティの浄財は国際奉仕委員会を通じて、飢餓に直面する子どもたちのために役立てたい。



祝 新入会員のご紹介

はまなすRC



小林 栄子 会員
7月1日入会

はまなすRC



坂田 淳二 会員
7月1日入会

岩見沢RC



大政 亮二 会員
7月25日入会

岩見沢RC



堤 佳彦 会員
8月22日入会

岩見沢東RC



浜村 弘寿 会員
8月26日入会

札幌東RC チャリティーディナーコンサート ロータリークラブゆかりのチェリストの演奏

8月24日(日)、札幌東ロータリークラブの例会とチャリティーディナーコンサートが、ホテルモントレエーデルホフ札幌で行われました。コンサートは例会に先立ち200人余の参加者を得、午後5時半より開催しました。企画は職業奉仕・社会奉仕・音楽の各委員会。

札幌出身で、ロータリー財団奨学生の経験もある東京フィルハーモニー交響楽団の首席チェリスト金木博幸氏の演奏が行われました。曲の合間に金木氏により、作曲家のエピソードや曲に対する意図の説明があり、また活躍が期待される新人の紹介もありました。

それに続く例会では、坂東会長のウィットに富む点鐘の後、ディナーをいただきながら、佐藤芳郎音楽委員長と金木氏との愉快的な会話を楽しみました。ロータリアン年齢の方でも、新たに楽器の演奏を楽しむコツや、高齢になっても楽しめるのは指揮者であろうというお話。また北海道トマムで毎年開催されている音楽セミナーは日本で最大級であり、今後も夏の北海道という地の利を得てどんどん発展していこうという明るい話題もありました。

第2510地区のロータリアンにも数十名参加していただきありがとうございます。43万9千円の益金は黒澤社会奉仕委員長から、チャリティーとして社会奉仕団体に寄付される予定です。



星野恭亮職業奉仕委員長



チェロ 金木博幸氏、ピアノ 柴田千賀子氏



演奏者との一カット

第3回ロータリー市民講座開催のお知らせ

地区職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治 (札幌西北RC)

人は誰も年をとる運命は避けることが出来ず、高齢層の人口は増加の一途をたどっております。

50歳を超えた後の生き方は、仕事の遂行と日常生活上の精神的な平衡を保つことが難しく、身体年齢の老化、病気の発生等から全ての人の重大な関心事です。

そこで、地区職業奉仕委員会主催の第3回市民講座は著名な老人問題の権威であります田中良治先生(札幌RC)を講師として、下記の要領にて開催することとなりましたので、各クラブのロータリアン及び家族、職場、知人等にも御案内していただき多数の皆様の御参加をお待ちしております。

講師：医師 田中良治氏
(医療法人札幌田中病院理事長)

演題：「大往生のための70章」
50歳からの人生の生き方と日常生活の送り方について

日時：平成15年10月16日(木)
午後1時～午後3時

場所：北海道浅井学園大学
北方圏学術情報センター大ホール
札幌市中央区南1条西22丁目
電話011-618-7711

参加料：無料
事前の申込みは不要です。当日、直接会場にお越し下さい。

文庫通信(192号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介・絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会誌より

- ◎ 「ロータリーは新世代とどう関わるか」 新田満夫 2002 7p
(D.2580 パネルディスカッション)
- ◎ 「子どもと内なる自然」 河合雅雄 2003 9p (D.2730 記念講演)
- ◎ 「人間性豊かな青少年に育てる為に、我々に何が出来るか」 見城美枝子 2003 20p
(D.2790 ロータリーミーティング)
- ◎ 「慈愛の種からどのような花を咲かせるか」 小林 博 2003 15p (D.2510 記念フォーラム)
- ◎ 「アーサー・フレデリック・シェルドン論」 小堀憲助 2003 17p (D.2680 特別講演)
- ◎ 「ロータリーは、今！」 岩井 敏 2003 5p (D.2790 記念講演)
- ◎ 「日本の可能性、東京の可能性 いまロータリアンに期待すること」 石原慎太郎 2002 3p
(D.2580 記念講演)
- ◎ 「言葉の危機、心の危機」 柳田邦男 2003 6p (D.2680 記念講演)
- ◎ 「このままでは日本は滅びる」 渡部昇一 2003 3p (D.2790 記念講演)
- ◎ 「生き方の選択」 日野原重明 2003 10p (D.2780 記念講演)
- ◎ 「ロータリーの新しい展望」 南園義一 2003 4p (D.2520 基調講演)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃報 心よりご冥福をお祈りします

山下 登 会員 (芦別RC)

2003年8月21日ご逝去 (享年68歳)

ロータリー歴等

1991年5月15日入会

1993~94年 出席委員長

1997~98年 広報委員長

1998~99年 国際奉仕常任委員長

1999~2000年 新世代活動推進委員長

2002~03年 親睦委員・職業奉仕常任委員会



(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 43】

2003年9月11日発行

<<表彰制度を改定しました!>>

新年度から累計10万円毎に米山功労者として表彰いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

1. 活発な意見交換で前向きなスタート!

～理事会・評議員会報告

2003年度最初の理事会・評議員会合同会議が8月30日(土)に東京・品川のホテルパシフィック東京で開かれ、理事、監事、評議員(陪席者含む)の計116名が出席しました。来賓の田中作次R I理事からの挨拶、島津久厚理事長の総括につづく昨年度の事業・会計報告では、出席者からも多くの意見や提案が出されました。特に、奨学金支給者1,000名を維持することの意義、寄付減少の現状とその対応について活発な意見交換がなされました。全体的に前向きな意見が多く、米山奨学事業に対するロータリアンの期待の大きさが伺われました。

第2回理事会では理事長、副理事長、常務理事の選任があり、新しい役員による新年度がスタートしました。国際社会に貢献する誇りと、課題の重さを改めて確認した一日でした。

(常務理事・事務局長:宮崎幸雄)

2. 100周年のガバナーに期待と激励

～ガバナー・エレクト研修会報告

8月30日の理事会・評議員会終了後、今年度のガバナー・エレクトを対象とした研修会が開かれました。ここでは、来賓の田中作次R I理事のお話から、1994-95年度に第2770地区ガバナーとして寄付増進に取り組

まれた活動事例を紹介いたします。

- ・地区として個人平均寄付目標額を設定し、達成をめざす。
- ・達成クラブ(クラブ累計額1,000万毎に表彰)間近なクラブにその旨を知らせて、協力を依頼する。
- ・クラブ米山委員長と連携して、クラブ内に米山奨学事業への理解を広めてもらう。

つづいて、大丸昌讓常務理事からも長年のご経験からの具体的な方策案が紹介されました。「ロータリー創立100周年という記念すべき年度のガバナーとして、自信をもって取り組んでほしい」という両氏からの激励は、ガバナー・エレクトの皆様にも力強く響いたようです。

3. 寄付金速報 ～米山月間に向けて

8月までの寄付金は、前年同期と比べ1.8%減、約6百万円の減少です。普通寄付金が0.5%減、特別寄付金が4.3%減です。これから地区大会、米山月間と続きます。8月14日付で全クラブ宛に米山寄付金マニュアルをお送りしました。会議や卓話の資料として必要な場合には別途必要部数を送付いたしますので、お気軽にお申し付けください。

4. 地区米山奨学委員長のメーリングリスト開設

～情報の共有・創意に向けて

「他の地区ともっとリアルタイムに情報交換したい」との声にお応えし、米山奨学会では、このたびメーリングリスト【委員長e-mailひろば】を開設しました。当該年度の米山奨学委員長でメールアドレスを持つメンバーで構成されます。8月28日の開設以来、各地区

のさまざまな工夫や企画が情報として寄せられています。一例をご紹介しますと……

- ・米山月間にむけた「米山〇×クイズ」の実施
(第2610地区 林 和夫 委員長)
- ・ユニセフにヒントを得た寄付者への礼状案
(第2760地区 加藤 知成 委員長)
- ・米山奨学生ホームステイ/地区大会での米山奨学生とロータリアンの集い計画など
(第2500地区 北川 健二 委員長)

9月中にはカウンセラーを対象としたメーリングリストも新たに開設する予定です。共通の課題に向かう仲間同士の交流、情報交換の新しいツールとして、ぜひご活用ください。

5. いよいよ開催まであと1ヵ月

～第1回米山奨学会学友会セミナー

米山初の学友会長有志連携プロジェクト「米山奨学会学友セミナー」までいよいよあと1ヵ月。実行委員長の唐偉氏(第2780地区米山奨学会学友会会長)は、「外国人犯罪が取りざたされていますが、それはごく一部のこと。このセミナーでは“平和と国際貢献にお

ける留学生の役割”をテーマに、真剣に生きる留学生の声を社会にアピールしたい」と抱負を語ります。

懸賞論文入賞者による講演やパネルディスカッションなど、学友が工夫を凝らした企画がいっぱいです。米山を通じてロータリー精神を受け継いだ学友たちの新たな挑戦に、ぜひ温かいエールをお送りください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

6. 10月は米山月間です!

～月間資料配布スタート

米山月間に向けて、米山奨学事業の新年度版資料(※)を全クラブ宛にお送りいたします。追加送付も承りますので、お気軽にご用命ください。

なお、ポスターは9月下旬に各ガバナー事務所に1セットずつお送りいたします。今しばらくお待ちください。

- (※) ・ワークブック2003 (各クラブ10部)
- ・月間リーフレット (全クラブ員分)
- ・2002年度事業報告書 (各クラブ10部)
- ・統計・資料編 (各クラブ1部)

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます			
大口寄付者			
札幌南 R C	遠藤 正之 会員	8月15日	
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー			
函館北 R C	小笠原 孝 会員	8月22日	
札幌東 R C	小野 道男 会員	8月29日	

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます			
米山功労者			
江別 R C	吉田 欣司 会員	8月27日	第1回
苫小牧北 R C	丸屋 憲一 会員	8月27日	第4回

お 知 ら せ

当クラブ長谷川久夫会員は、平成15年8月11日のクラブ理事会において会員身分の終結を決議し退会となりましたので公告します。今後当クラブとは一切関係がありませんのでお知らせ致します。

平成15年8月11日

札幌セントラルRC

会 長 芹 田 馨

長谷川久夫会員は平成15年8月11日所属クラブ理事会において会員身分の終結を決議されたため、当地区世界社会奉仕委員会委員の身分は自動的に失いましたのでお知らせ致します。

平成15年8月11日

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 佐 藤 秀 雄



2003年8月11日まで札幌セントラルRCに在籍した長谷川久夫氏は2003年8月12日から同クラブの会員ではありません。従って地区のWCS委員でもございません。

長谷川久夫氏は2003年6月30日(月)からサハリンを訪問するに当たり、地区WCS委員会から728,500円の支出を要求し受領致しました。しかしこの要求自体が適切なものではなく、またこれが適切に使用された証拠が提示されておりません。従って同資金を個人的に費消した疑念を払拭できないだけでなく、結果的に地区に多大な迷惑をかけたことになりかねない状況とわかりました。そこで、同氏にこの疑念を払拭していただくか、受領された金額を返済されるよう8月29日付内容証明郵便にて要望致しました。

残念ながら期日までに何の返答もございません。やむを得ず札幌セントラルRC所属の田中宏弁護士を介し、現佐藤秀雄ガバナーの代理人として支払い方の催告書を9月9日付で提出致しましたが、これに対する応答も9月20日の期日までにございませんでした。

対応についてガバナー以下、関係者一同で論議した結果、同氏には支払う意志がないと判断致しました。しかし、これを訴訟に持っていくべきか否かについては問題のあるところでもあります。そこで、関係者一同が同氏への適切な指導が出来なかった責任の一端として、支払い金額の一部を弁償すべく寄付を募ることに致しました。その結果、ここに530,000円の寄付金が集まりました。この寄付金は直前年度WCS委員会に対するものですが、特別地区資金寄付金として計上のうえ、現年度特別資金へ繰越されました。そして初期目的に沿って現年度WCS委員会事業にて使用されることとなっております。

以上の経過と結論を会員諸子にお知らせ致します。

*** 掲示板 ***

・例会会場移転の案内

浦河 R C 10月7日(火)の例会より下記会場に変更します。
 浦河ウエリントンホテル
 (〒057-0013 浦河郡浦河町大通3丁目40-1)
 電話 01462-2-8888 FAX 01462-2-8525
 E-mail: ta-jtte@technowave.ne.jp

※9月30日以降のご連絡、郵便物については新例会場宛にご送付下さい。

・例会の変更について

江別 R C	10月14日(火) 18:00~ 江別・江別西ロータリークラブ 合同例会 場所: 江別市民会館21号室 (江別市高砂町6番地)	10月30日(木) 休会 (定款第5条第1節Cによる)	
江別西 R C	10月21日(火) 職場訪問例会 場所: 江別市新ごみ処理施設	小樽南 R C	10月18日(土) 16:30~ 小樽 R C 合同例会 (小樽 R C 創立70周年記念事業) 場所: ヒルトン小樽
千歳セントラル R C	10月21日(火) 休会	芦別 R C	10月10日(金) 18:00~ 観楓会 (夜間例会) 場所: 鮭広
岩見沢東 R C	10月28日(火) 休会		10月14日(火) 移動例会 (赤平 R C と合同例会) 場所: 赤平交流センターみらい
室蘭東 R C	10月8日(水) 職場訪問例会 場所: 新日本製鐵株式会社		10月17日(金) 休会
	10月15日(水) 休会 (定款第5条第1節による)	白老 R C	10月7日(火) 12:30~ 職場訪問例会 場所: 新栄砕石工業(株) (白老町字竹浦266)
	10月29日(水) 18:30~ 夜間例会クラブフォーラム (登別 R C 合同) 場所: 蓬峯殿	留萌 R C	10月1日(水) 休会 (定款第5条第1節Cによる)
羽幌 R C	10月16日(木) 夜間例会 (観楓会 in 岬温泉)		

2004~2005年度 ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

所在地: 〒059-0034 登別市鷺別町2丁目31-1

医療法人社団友愛会恵愛病院 (2階)

TEL: 0143-82-2510 FAX: 0143-82-2512 E-mail: keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

執務時間: 午前9時30分~午後5時30分 (土・日曜・祝祭日は休ませて頂きます)

尚、当事務所は2004年7月1日よりガバナー事務所となります。

皆様からのご連絡、情報をお待ち申し上げます。お気軽にお寄せください。

ガバナーエレクト 遠藤 秀雄

事務局 阿部 智子

竹浪 直美

8月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.8.31	増減	内女性	
1	深 川	3	43	43	0	2	84.17
	羽 幌	4	47	47	0	1	79.99
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	87.50
	小 平	4	16	16	0	0	68.75
	留 萌	4	64	65	1	0	89.35
	小 計		180	181	1	3	81.95
2	赤 平	3	35	35	0	1	83.99
	芦 別	4	58	57	-1	0	91.04
	砂 川	3	55	54	-1	0	98.02
	滝 川	3	109	110	1	2	78.00
小 計		257	256	-1	3	87.76	
3	美 唄	3	47	47	0	0	89.39
	江 別	3	46	47	1	2	94.07
	江 別 西	4	40	40	0	3	88.75
	岩 見 沢	4	100	101	1	0	90.77
	岩 見 沢 東	4	34	36	2	3	94.37
	栗 沢	3	33	33	0	2	94.86
	栗 山	3	32	32	0	2	93.33
	当 別	3	42	42	0	0	76.19
	小 計		374	378	4	12	90.22
4	札 幌	3	113	123	10	0	98.72
	札幌あけぼの	4	18	18	0	1	100.00
	札幌はまなす	3	30	30	0	5	89.29
	札 幌 北	3	54	56	2	5	88.10
	札幌モーニング	3	60	61	1	0	76.51
	札 幌 西	3	74	76	2	2	94.67
	札 幌 西 北	3	50	51	1	2	92.19
	札 幌 手 稲	4	44	44	0	0	100.00
	小 計		443	459	16	15	92.44
5	札 幌 東	3	118	118	0	0	98.77
	札 幌 清 田	4	29	29	0	5	98.72
	札 幌 幌 南	4	81	81	0	0	99.36
	札 幌 真 駒 内	3	46	46	0	2	97.60
	札 幌 南	4	90	93	3	0	95.71
	札幌大通公園	4	19	20	1	5	73.68
	札幌セントラル	4	19	19	0	5	75.00
	新 札 幌	3	36	38	2	1	83.33
	小 計		438	444	6	18	90.27
6	岩 内	3	35	36	1	0	73.12
	倶 知 安	4	57	57	0	4	77.15
	小 樽	4	88	88	0	0	84.12
	小 樽 南	4	86	86	0	0	82.67
	小 樽 銭 函	3	22	22	0	3	77.28
	蘭 越	3	15	15	0	0	80.00
	余 市	3	46	46	0	4	89.10
	小 計		349	350	1	11	80.49

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,353人 (96人)
増加会員数	49人
当月平均出席率	84.57%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.8.31	増減	内女性	
7	千 歳	3	72	74	2	2	90.54
	千歳セントラル	3	31	31	0	0	82.50
	恵 庭	3	50	50	0	0	87.23
	北 広 島	3	15	18	3	2	88.24
	長 沼	3	17	17	0	4	86.50
	由 仁	3	16	16	0	0	72.92
小 計		201	206	5	8	84.66	
8	え り も	3	23	25	2	0	72.00
	三 石	4	18	18	0	1	95.80
	様 似	4	20	20	0	2	63.75
	静 内	3	68	67	-1	0	80.09
	浦 河	3	42	42	0	1	86.18
	小 計		171	172	1	4	79.56
9	伊 達	1	55	55	0	0	78.86
	室 蘭	3	56	57	1	0	97.58
	室 蘭 東	3	48	50	2	0	86.33
	室 蘭 北	3	39	39	0	2	79.49
	登 別	3	39	39	0	2	84.62
	洞 爺 湖	5	12	11	-1	0	86.35
	小 計		249	251	2	4	85.54
10	函 館	3	101	106	5	0	80.96
	函 館 亀 田	4	47	48	1	1	75.00
	森	3	48	48	0	0	78.00
	七 飯	3	29	29	0	0	61.00
	長 万 部	3	12	14	2	0	69.04
小 計		237	245	8	1	72.80	
11	江 差	3	21	20	-1	0	78.50
	函 館 五 稜 郭	4	64	69	5	0	88.14
	函 館 東	3	60	62	2	6	80.37
	函 館 北	3	43	43	0	0	82.11
	上 磯	3	33	33	0	3	58.60
	松 前	2	9	9	0	1	87.50
小 計		230	236	6	10	79.20	
12	白 老	4	32	32	0	2	70.00
	苫 小 牧	4	61	61	0	0	74.05
	苫 小 牧 東	3	33	33	0	3	85.42
	苫 小 牧 北	4	49	49	0	2	93.75
	小 計		175	175	0	7	80.81
合 計		3,304	3,353	49	96	84.57	

地区カレンダー（10月・11月）

10 月 職業奉仕月間・米山月間	
1(水)	公式訪問(栗沢RC、栗山RC)
2(木)	
3(金)	
4(土)	
5(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌市:アスティ45)
6(月)	
7(火)	
8(水)	
9(木)	
10(金)	第1回全国青少年育成委員会(東京)
11(土)	公式訪問(三石RC、えりもRC、様似RC、静内RC、浦河RC)
12(日)	
13(月)	体育の日
14(火)	公式訪問(千歳RC、千歳セントラルRC)
15(水)	
16(木)	第3回ロータリー市民講座 (主催:地区職業奉仕委員会)
17(金)	
18(土)	小樽RC創立70周年記念式典
19(日)	
20(月)	
21(火)	
22(水)	
23(木)	地区大会記念ゴルフ大会 (千歳市:シャムロックCC)
24(金)	地区年次大会(千歳市)
25(土)	地区年次大会(千歳市)
26(日)	
27(月)	
28(火)	
29(水)	
30(木)	
31(金)	

11 月 ロータリー財団月間	
1(土)	ロータリーアクト地区協議会 岩見沢RAC創立35周年記念式典
2(日)	
3(月)	文化の日
4(火)	
5(水)	
6(木)	
7(金)	
8(土)	
9(日)	
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	
23(日)	勤労感謝の日 北海道RAC交流会
24(月)	振替休日 北海道RAC交流会
25(火)	
26(水)	ロータリーの友座談会(東京)
27(木)	ロータリー財団地域セミナー(東京)
28(金)	第2回ガバナー会、第2回ガバナーエレクト研 修セミナー(東京)
29(土)	ロータリー研究会(東京) ロータリー市民フォーラム(札幌)
30(日)	ロータリー研究会(東京)